

令和5年度 学校評価書 (計画段階 ・ **実施段階**)

全日制課程

福岡県立浮羽工業高等学校

3枚中の1

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)	
学校運営方針	日本国憲法、教育基本法の精神に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる工業人の育成に努める。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
本校は、創立117年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、四年生大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、工業教育を永年にわたり実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が奏功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。全学科得意技コース制の積極的運用を通し、21世紀を勝ち抜く工業人を育成する。 「浮工チャレンジャーズ」を合言葉に生徒と教師が一致団結し何事にも挑戦し続ける校風をさらに醸成することや、あいさつ5S活動を通して、社会人としての礼儀作法を習得させ、地域から愛され必要とされる人材を育成する学校作りに邁進していく。	キャリア教育の充実と得意技コース制の活性化を図り、就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。	・充実した授業(ICT機器の活用・AL)を展開することで、生徒の学力・技能の養成に努める。 ・キャリア教育を充実させ、向上心に溢れ、高い志を持つ生徒の育成を行う。 ・資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。	
	テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。	・「ものづくり教室」や課題研究・文化祭等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。 ・「テクノボランティア」活動の活発化と、地域との連携を深め、その内容の充実を図る。 ・ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。	
	ものづくりを通した人づくりを推進する。	・ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。 ・幅広い人づくりを推進するため、部活動を活性化させる。 ・教員がしなやかな人権感覚をもち、道徳心やいじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。	
	広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。	・工業高校らしい特色ある教育活動の実施において、広報活動の強化・充実を図る。 ・テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。 ・ホームページやSNS等、中学校訪問の充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価
教科指導 「主体的・対話的で深い学び」の実現 授業規律と基礎学力の定着 生徒支援の充実	「主体的・対話的で深い学び」の実現	ICT機器を効果的に活用し、思考力や表現力を高める授業を展開する。 振り返りや対話活動を取り入れた授業を実践する。 指導力の向上を図り、わかる授業を展開する。	A B A
	授業規律と基礎学力の定着	学習環境の整備と授業規律を徹底する。 考査前学習会の充実を図り、自ら学ぶ態度を育成する。 各教科・担任・保護者との協力体制を築き、生徒情報を共有する。	A B A
	生徒支援の充実	成績改善指導を通じて、個に応じた学習支援に取り組む。 生徒の実態に応じて、適切なサポートを行う。 「ものづくり」や「奉仕活動」を通して、地域から必要とされる学校づくりを目指す。	B A B
生徒指導 基本的生活習慣の確立と規範意識を育む。 交通安全教育の充実を図る。 全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	基本的生活習慣の確立と規範意識を育む。	挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度を育成する。 校内外の巡回指導を実施して生徒の実態を把握し、学年や学科と連携して規範意識を高める。 部活動を活性化し、人間力の育成に取り組む。	A B A
	交通安全教育の充実を図る。	定期的に通学者集会を実施し、交通安全に対する意識向上に努める。 交通安全教室や校外指導等を通して、交通安全や交通ルール遵守の意識向上を図る。 生徒が主体となって交通安全や交通ルール順守の啓発を行う活動を実施する。	A A B
	全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。 学校生活アンケート等を実施し、生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行なう。 ものづくりは人づくりの観点から、人の悩みに寄り添い、支え合い共に成長していくことを啓発する。	B B A
進路指導 進路実現のための職業観・勤労観の育成 基礎学力の定着および社会人としての態度の育成 キャリアプランニングの一環として、資格取得に対する意欲の涵養	進路実現のための職業観・勤労観の育成	一年次よりガイダンス等を用いて、進路への意識付けを行う。 工場見学やインターンシップにより実際の現場を経験することで、職業観・勤労観を育成する。 各学年団と連携を図りながら、それぞれの学年に応じた体系的な指導を行う。	A A A
	基礎学力の定着および社会人としての態度の育成	対外的な模試等を実施し、学力を客観的に考察させることにより学習意欲を喚起する。 普通教科、専門教科と連携し、生徒の満足度を高める。 就職試験や大学入試の傾向を分析し、生徒に情報を提供することで基礎学力の重要性を認識させる。	A B A
	キャリアプランニングの一環として、資格取得に対する意欲の涵養	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。 自己の進路を実現するための手段の一つとして、資格取得に対する意欲の向上を図る。 実習、課題研究を通し、様々な課題を発見、分析し、解決する能力を育成する。	B B A

A

学校関係者評価	
評価 (総合)	自己評価は A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	いつも真剣にご指導いただき、落ち着いた状態で授業が実施されている。中退者の減少にもつながっている。ICT機器の導入により更なる深い授業を実施していただきたい。今後も生徒が学習意欲を持てるような指導をお願いしたい。
A	生徒は様々な経験をしないといけないが、大きな事件に発展すると大変なので、職員でしっかりと見守ってほしい。挨拶が良くでき年々明るい雰囲気を感じることができている。卒業証書授与式は、感動するものがあった。
A	本年も高い就職率が達成できたことは本当に素晴らしい。さすが工業である。県外就職も良いが地元にもう少し目を向けた指導もお願いしたい。

						3枚中の2			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度の主な課題		項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見	
研 修	教員の資質・力量を向上し、学びつづける教員像を目指した研修を行う。	職員の要望に応えながら効果的な職員研修を企画・運営する。	B	A	A	・来年度は職員の要望に応えながら、現在の教育課題や校内の諸課題を解決できる内容を企画して、職員の満足感が得られる職員研修にしていく。 ・教育センターをはじめとする外部の研修について積極的に案内をし、多くの職員が参加できるよう働きかける。 ・授業参観月間・研究授業月間を引き続き設定し、職員が切磋琢磨しながらより良い授業構築ができる環境を整える。 ・若手教員の研修内容を充実させ、指導力向上のためのサポートを行う。	A	A	研修で若い先生の支援をしっかりとしてほしい。教職員の質の向上及び生徒が学習意欲を出し積極的に取組めるような環境をつくるために研修を進めてください。
		キャリアアップ講座等の外部研修の受講輪を推進する。	A						
		外部講師を積極的に招聘して、本校の活性化や課題解決を模索する。	A						
	授業改善を図り、生徒の学校満足度を向上させる。	1学期(6月)2学期(11月)に授業参観週間・研究授業を予定する。	A	A					
		若年研修1・2・3年目を実施し、授業の改善について全職員で共通理解を図る。	A	A					
		ICTを活用した授業を積極的に紹介し、職員が実践できる研修を企画する。	A						
教育情報	ICT機器を活用した効果的な授業の推進	Chromebookの活用推進と取り扱いルールの変更を行う。	B	A	A	・今年度、豪雨災害によりChromebookの活用が制限されたが、次年度は研修課・支援員と連携し活用推進をはかる。 ・関係部署と綿密に連携し、改築工事によるネットワーク構成の変更に対応できる体制を整える。 ・災害時等のトラブルに対し、いち早く対応できるスキルアップに努める。	A	A	教育の情報化・機器の導入は素晴らしい。パソコンや電子黒板などICT機器を授業で積極的に利用してほしい。
		ICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。	A						
		ICT支援員と連携し、ICTを活用した学びを積極的にサポートする。	A						
	ネットワークの安定運用	トラブルに迅速に対応できるサポート体制維持に努めるため、課職員のスキルアップを図る。	A	A					
		ネットワークセキュリティを確保し、情報漏洩防止に努める。	A	A					
		改築工事に伴うネットワーク構成の変化を把握し、トラブルへの迅速な対応を行う。	A						
保 健	全職員と連携した保健業務を行い、生徒の心身の健康維持を図る。	保健室に来室する生徒へ適切に対応し、保健課職員と担任や学年等と連携に努める。	A	A	A	・SCの保護者利用が増加傾向にある。スケジュールや意義が家庭にも伝わるよう、安全メールを活用する。 ・インフルエンザと新型コロナウイルスの感染による学級閉鎖が複数学級で発生した。基本的な対策の呼びかけを行うとともに、クラスルーム等を活用することで情報収集と連絡などの効率化を図る。 ・大規模改修や水害に伴い、掃除区域分担の見直しを行う。	A	A	SCへのカウンセリングが増加傾向にあるので、大きな問題になる前に、その理由や対策をしっかりと検討して欲しい。
		教育相談委員会等を利用して生徒情報を共有し、配慮を要する生徒への支援と状況把握を図る。	B						
		SC等外部専門機関の相談機能を活用し、助言を受けて早期対応を行う。	A						
	日常の清掃活動を通して、美化意識の向上に努める。	各学期に美化コンクールを実施し、清掃活動の徹底と美化意識の向上を図る。	B	B					
		校内における各自のごみ持ち帰りと分別を推進し、ごみの減量を目指す。	B	B					
		日々の清掃活動の状況を把握し、職員による支援や指導を通して校内美化に努める。	A						
総務企画	学校各種行事を円滑に遂行する。	式典や各種行事等において、各部署と協力、連携し、職員への周知、情報共有を行う。	A	A	A	・各種学校行事が、滞りなく実施できるよう各部署との連携や情報交換を入念に行う。 ・PTA行事の内容を工夫および精選し、気軽に参加できる行事が実施できるようする。 ・広報課と連携しながら、浮羽工業の良さを伝え、志願者増につなげる。 ・総務企画内の業務内容の共有化を行う。	A	A	水害を受けて、今後防災避難訓練を徹底してはどうか。また、水害被害を拡大させないため、校舎一階の利用方法について検討したほうがよいのではないかと。
		大規模改築計画に対応し、各種行事の企画運営を行う。	A						
		教務、広報と連携し、中学校訪問や体験入学の充実を行い、得意技コースの周知および本校の魅力が中学生に伝え、志願者増につなげる。	A						
	保護者、地域、同窓会との協力関係を築き、学校の活性化につなげる。	PTA行事等への保護者への呼びかけを積極的に行い、理解や協力を得る。PTA行事の発展的な精選を行う。	A	A					
		公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。	A	A					
		学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。	A						
広 報	地域や中学校に向けて広報活動を戦略的に展開する。	中学校や塾への広報活動を年間を通じて計画的・効果的に行う。	A	A	A	・広報活動をもう少し前倒ししながら早急に展開していく。 ・新入生から情報収集を図り、広報活動の内容を再検討していく。 ・各学科・部活動等広報に関する情報共有、共通認識をさらに高めていく。 ・中学校説明会への参加を積極的に中学校に要望していく。 ・HP・SNSを使った発信をさらに充実していく。	A	A	よくホームページでの情報発信がなされている。今年は動画等もあり活動が分かりやすくなった。今年以上に中学生や地域に本校の魅力が伝わるよう積極的に実施してほしい。
		中学校や新入生から意欲的に情報収集を行うとともに、本校職員の情報共有を図る。	B						
		SNSを駆使し、情報発信の幅を広げるとともに、ホームページ等でわかりやすく本校の魅力が伝わるよう努める。	A						
	中学生体験入学、進路相談事業や高校説明会等において、本校の魅力を丁寧にわかりやすく伝える。	体験入学を通じて、中学生や保護者にもものづくりや本校の魅力を伝える計画・内容の向上に努める。	A	A					
		コース制、各科の内容、進路実績などをわかりやすく伝える。	A	A					
		高校説明会における説明内容をブラッシュアップし、気になる学校の1つになるよう努める。	A						
図 書	図書館の環境整備および図書資料の充実を図る。「朝の読書」など生徒の読書活動を推進する。	利用しやすい図書環境を提供するために、学校図書館に適した図書を選定し、生徒の学習活動に対応する。	A	A	A	・仮設図書館の充実と環境整備を進めると同時に、図書館棟内への移動準備を行う。 ・図書選定時にアンケートを取ったりブックトークをクラスで行ったりして「朝の読書」を更に充実させる。 ・総務企画課と連携しながら、芸術鑑賞教室を成功させる。(実施場所や時期については検討中) ・図書委員の活動を活性化させるために、ビブリオバトル等の行事を図書委員を中心に行う。	A	A	多くの生徒がもっと利用できるよう図書委員会の活発な活動と図書室の環境整備の充実をお願いしたい。
		「朝の読書」を推進するために、アンケート調査などの啓発活動を進める。	A						
		学校行事に沿って図書委員会の、校内および校外活動を活性化させる。	A						
	図書館及び視聴覚室の環境整備を図る。芸術鑑賞教室を成功させる。	大規模改築に伴い、図書館棟内の移動準備、仮設図書館の充実と環境整備を進める。	A	A					
		芸術鑑賞教室を成功させ、生徒の情操を育てる。(今年度は郊外ホールでの実施)	A	A					
		視聴覚機器の維持管理を日頃より行い、利用しやすい視聴覚機器環境を提供する。	A						
生徒会指導	主体性を育み自治的活動の活性化を図る。	学校の中心となる生徒会・リーダーが、主体的な行事運営を行うことで生徒会活性化を図る。	A	A	A	・話し合い活動を更に充実させ、生徒の人間成長を促す。 ・学校行事運営に主体性をもたせ、自己肯定感の向上や、母校愛を育む。 ・行事の教育的効果を生み出すことと、働き方改革に繋がる内容の両立を意識し、企画運営を行う。 ・文化祭でInstagramを活用し告知を行い、来場者増に繋げることができた。次年度も積極的に活用する。	A	A	水害等で活動に制限がある中、多くの学校行事が延期や中止することなく実施できたことはすばらしい。生徒が様々な企画を立て生徒の自主性を育まれ素晴らしいものができたと思います。生徒さんの成長がみられます。
		生徒一人ひとりが生徒会の一員であることを自覚させ、それぞれの立場で役割を果たす態度を養う。	A						
		委員会活動等であいさつ5S活動の推進を図り、明るい学校環境を育成する。	A						
	魅力ある学校行事を実施し、学校PRに繋げる。	学校行事等の準備において、話し合い活動を活発に行い、全校生徒の主体性を向上させる。	A	A					
		生徒が身に付けた専門的な技術を、地域社会に広く知ってもらえるよう学校行事を企画・運営する。	B	A					
		広報課と連携し、生徒会活動を計画的に地域社会に通知し、理解を得る。	A						
第1学年	基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着を図る。	授業開始・終了時、入退室などの日頃のあいさつ指導を徹底して行う。	A	A	A	・中学時代にコロナ禍を経験した生徒たちにとって声を出すことへの抵抗感があることを懸念していたが、早朝訓練や校内研修を始め、様々な場面での指導を通じ、概ね挨拶はできるようになった。 ・クラスや学年での活動や学校行事へ前向きに参加する姿は見られるが、リーダーの育成については課題が残った。生徒会選挙や学年運営委員の活用を通して、リーダーの掘り起こしや育成が次年度の課題である。	A	A	入学後の宿泊研修ができず校内研修会の成果があったことは良かった。基本的生活習慣の確立に向けた取り組みをお願いしたい。3年後の進路の実現に向け生徒の意識を高めてもらいたい。
		授業への前向きな取り組みや資格取得の意識付けを行い、学習習慣と学力の定着を図る。	A						
		生活習慣と学習習慣の見直しと改善を目標に、定期考査への取組みと反省を学年全体で行う。	A						
	学校行事や学年行事へ積極的な参加を促し、所属感や自己有用感の醸成を図る。	安心安全な学校生活を保障するために、学期に2度以上の生徒面談と情報共有を行う。	A	A					
		学校や学年、クラスへの所属意識を醸成するために、生徒主体の学年行事を積極的に行う。	B	A					
		学校行事への積極的な参加や就職への前向きな就任を促し、リーダーシップや自己有用感を育む。	A						
第2学年	情動的知能の育成と社会的認識を高める指導を行う。	集団行動や学校生活、社会問題を通して、現実と理想を相互に考えながら解決法を選択する指導を行う。	A	A	A	・生徒は、あいさつがよくできるようになり、相手を思いやる行動がよくとれるようになった。また、他者とのコミュニケーションも円滑に行えるようになり、社会性が大きく向上した。 ・自身の進路を意識して、インターンシップや現場見学、修学旅行の行事に取り組むことができ、目標に向かって一つ一つ力を身に付ける習慣を養うことができた。	A	A	生徒会を中心にリーダーの育成を図り、生徒自ら考え行動する力を付けてもらいたい。来年度の活躍が楽しみである。
		あいさつ5Sを中心とした、快活で礼節ある態度を養う指導や課題設定を行う。	A						
		感情をコントロールし、問題防止や良い選択判断ができるように、対話を活発に行う。	A						
	基礎学力の向上および進路決定を意識したプランニング力を養成する。	基礎学力の向上および専門性を高める意識を持たせる指導を行う。	A	A					
		各学科と連携し、インターンシップを含め責任ある意思決定を主体的に行えるように指導を行う。	A	A					
		人生観と習慣と技能の養成について日々考えさせ、目標となる結果に向かう意識を育てる。	A						

		3枚中の3			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題	
第3学年	全生徒が希望する進路実現100%を目指し、学年団と進路指導部で連携しながら段階的な指導を行う。 主体的に行動でき、即戦力と成る人材を育成するため、各行事に積極的に取り組むようサポートする。	5月の進路希望調査に向けてクラス面談を行い、学年団と進路・学科との情報共有を密にする。	A	A	・年度初めに進路獲得に本気になっていない生徒が見受けられたので、2年次から進路指導をより徹底すること、3年次の1学期に進路に関するHRや進路指導部と連携した取組の機会を増やす。 ・夏季進路課外について、効率的な実施且つ深い学びにするために、課外に入る前から学年所属の職員との入念な打ち合わせ、生徒に対する事前指導・準備を徹底させる。 ・11月の学年クラスマッチは生徒主体で準備から運営まで行い充実したものになった。このような生徒主体の取組を増やすためにHR計画等を見直す。
		夏季休業中の進路課外を通して、基礎学力と基本的な生活習慣の定着を図る。	B		
		進路指導部と連携して、SPI検査や面接指導等を計画的に行うことで、一次合格率90%を目指す。	A		
		学年運営委員が集会や行事、各クラス内で活躍できる場を増やし、生徒主体で行動できるよう事前指導を徹底する。	A		
工業教育	魅力ある学科、得意技コース制の活性化を図る。 テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	HRの時間を活用し、学年全体で取り組む活動を取り入れ、他者を思いやる心や学年への帰属意識を高めさせる。	A	A	・九州北部豪雨災害等により、ものづくり教室の中止やテクノボランティアなどの活動が制限されたので、本校の技術を生かして製作した作品の寄贈など、新たな活動を推進する。 ・必要な実習機器の授業環境整備を進めていきたい。
		体育祭や文化祭などの学校全体の行事において、役割を多く与えることで責任感やリーダーシップ、協調性を育てる。	A		
		学科の教育内容の充実を図るとともに、得意技コース制の特色を活かし幅広い知識を身に付けさせる。	A		
		得意技コース制の運営を円滑にし、魅力を発信する取り組みを行う。	A		
建築科	基本的な生活習慣の確立を図る。 進路意識の高揚を図る。	各料と連携して資格試験や検定試験を受験するよう促す。	A	A	・挨拶・身だしなみの指導に関しては、日頃からの指導により一定の成果をあげることができた。 ・進路指導に関しては、希望する進路の実現に向けた取り組みを積極的に行ったことで、全員が満足のいく進路の実績につなげることができた。 ・資格取得に関しては、昨年度と比べ大きく合格率を上げることができた。またものづくりに関しては、木工機械などが浸水被害を受けたことで活動に困難が生じたため早急に環境整備を行って従前の活動ができる状況になるよう努めていきたい。
		テクノボランティアを充実させ、地域との連携を深めための施設設備の充実を図る。	B		
		希望進路実現に向けて全職員が面接指導を行い、進路内容の充実を図る。	A		
		出前授業、地域の活動等に積極的に参加し、学校の理解、PRを行う。	B		
環境デザイン科	資格取得・ものづくりの充実を図る。	広報と連携しホームページの充実や、わかりやすく興味・関心を持たれる内容になるよう工夫する。	A	A	・集会などを通して、科内の生徒同士の繋がりを強化し、一体感を高めていく必要がある。 ・出前授業の回数を増やし、建設系の入学者数を増やす取り組みに力を入れる必要がある。 ・工業ではない進路先を選択している生徒が、毎年一定数存在している。本人の意思もあるが、できるだけ工業の専門知識を活かせる進路先を勧めていく必要がある。
		あいさつ5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期限の厳守などの指導の徹底を図る。	A		
		実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。	B		
		担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	A		
環境デザイン科	3年間を見通した進路意識を持たせ、より良い進路実現が果たせるように努める。	インターンシップや現場見学会の取り組みを充実させ、進路意識の高揚を図る。	A	A	・日常の振舞いに礼節や正しいマナー身に付け、時間と規則を遵守できるように、社会性を広げる指導を行う。 生徒の主体的な資格試験への取り組みを促し、全資格試験の合格率向上に繋げる。 日常や作業に潜むリスクを常に意識し、生徒自ら安全対策を講じることができるよう指導を行う。 地域と連携したものづくりを実践し、社会貢献に主体的に取り組む態度を育成する。 伝統を守りつつ、生徒の意見を反映させながら、日々新しい実習内容にチャレンジする。 中学校訪問やSNSを有効に活用し、地域全体に環境デザイン科の特色をPRする。
		希望進路実現に向けて全職員が面接指導を行い、進路内容の充実を図る。	A		
		得意技コースにおいて、生徒が具体的な目標を持って選択できるような授業展開を行う。	A		
		1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。	A		
機械科	生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。 進路決定を見越した資格取得の充実化・支援を行う。	ものづくりを通して、建築技術の向上を図ると共に、テクノボランティア活動を行い、地域貢献や広報活動に努める。	B	A	・実習において、作業者の安全が確保されるように工具の使い方や注意点などの指導をより重点的に行い、安全に作業できるように努める必要がある。 ・今年度はものづくり教室や出前授業を計画していたが、実施できなかった。次年度以降は積極的に実施していきたい。
		製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動の充実を図る。	B		
		1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。	A		
		ものづくりを通して、建築技術の向上を図ると共に、テクノボランティア活動を行い、地域貢献や広報活動に努める。	B		
電気科	規則を遵守する態度を育てる。 クラスの掌握・担任の補佐を確立する。	製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動の充実を図る。	B	A	・実習において、十分に安全が確保できるよう床や机上等に不必要な工具や実習機器を置かない指導を徹底し、安全で効率の良い作業を実現する。 ・毎回授業開始前に服装やテキスト、レポート用紙、筆記具等の点検を行い、準備が整っているかを確認し、生徒の実習に対する意識を向上させる。 ・科会議において毎回欠かさずクラス担任より現状報告をいただき、各クラスの問題を共有し、解決に向けて科全体で取り組む。 ・今年度は第二種電気工事士の完全合格者が目標を10%下回る結果であったので、次年度はさらに合格率の向上を目指す。
		個人面談等を行い、自己理解の手助けをする。	A		
		卒業生がどのような職場で活躍しているかを知らせ、目標を持たせる。	A		
		第二種電気工事士試験において、受験者全体で80%以上の完全合格者を目指す。	B		
材料技術科	基本的な生活習慣の確立を図る。 学力向上に努め、資格取得の推進及び合格率の向上を目指し、進路実現につなげる。 ものづくり活動を通して、広報活動及び地域貢献を行う。	実習レポート等の提出期限を確実に守らせる。	A	A	・実習開始時の身だしなみチェックや生徒状況報告などを徹底し、科職員全体指導を行い一定の成果を出すことができた。次年度もあいさつ5Sの指導の徹底を図り、社会性を身に付けた生徒の育成を図りたい。 ・授業や放課後指導、企業の協力による対策講座の実施により、金属熱処理技能士の合格率70%の目標を達成することができた。また、資格取得や進路指導を通して生徒の進路実現に向けてサポートしていきたい。 ・出前授業や課題研究での材料技術科のPR動画作成、テクノボランティアなど広報活動や地域貢献を行うことができた。今後も工業技術を生かし広報活動や地域貢献を行っていきたい。
		実習時の服装や携行品の点検を毎回行い、安全に作業ができるよう徹底する。	A		
		時間の厳守、あいさつ5S、正しい言葉遣い等の徹底した指導を行う。	B		
		担任を中心に、科会時には毎回現状を報告し、援助体制を確立する。	B		
材料技術科	ものづくり活動を通して、広報活動及び地域貢献を行う。	クラスの問題が担任だけに片寄らないよう心がけ、日常的に話し合える雰囲気を作り上げる。	A	A	・実習開始時の身だしなみチェックや生徒状況報告などを徹底し、科職員全体指導を行い一定の成果を出すことができた。次年度もあいさつ5Sの指導の徹底を図り、社会性を身に付けた生徒の育成を図りたい。 ・授業や放課後指導、企業の協力による対策講座の実施により、金属熱処理技能士の合格率70%の目標を達成することができた。また、資格取得や進路指導を通して生徒の進路実現に向けてサポートしていきたい。 ・出前授業や課題研究での材料技術科のPR動画作成、テクノボランティアなど広報活動や地域貢献を行うことができた。今後も工業技術を生かし広報活動や地域貢献を行っていきたい。
		資格・検定試験の日程を明確に示し、各学年に周知させる。	B		
		学科のすべての活動の中で、服装や礼儀、あいさつ5Sの指導を徹底し、社会性を身に付けた生徒の育成を行う。	A		
		日頃から、生徒状況を報告し合い、科職員全体で生徒を指導する体制を作る。	A		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・ICT機器を用いてわかりやすい授業を展開するとともに、きめ細やかな指導を徹底し、生徒の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。
- ・生徒が積極的に資格取得に取り組めるように指導体制強化を継続する。
- ・工業高校ならではのテクノロジーを生かした地域貢献を継続して行う。(テクノボランティア活動)
- ・中学生やその保護者に本校の魅力が伝わるように分かりやすい内容で広報活動の充実を図る。
- ・キャリア教育の充実を図る。就職・進学ともに高い志をもち、チャレンジ精神に溢れる生徒の育成に励む。

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	生徒会を中心とした3年生としての自覚も持ち、あらゆる学校行事に積極的に取り組んでいるようである。来年度についても早期に進路実現100%になるよう指導をお願いしたい。
A	6年連続で豪雨災害が続いている。仮設住宅をどう作るかなど、住民の避難や災害支援が課題になっている。本校のテクノボランティアで被害者の援助をできないか検討してほしい。
A	うきは市図書館のブックエンドの製作やフットペダル消毒寄贈を行うなど地域への貢献も素晴らしいものがある。建築のコンペ作品も表彰を受け頑張っていることが嬉しいと思う。
A	JR田主丸駅や田主丸商店街等への地域貢献は素晴らしい。コース制の魅力を中学生や女子生徒にもっとPRしてほしい。女子生徒の育成をお願いしたい。
A	資格取得に前向きに取り組まれている。例年表彰等を受賞し成果を出しているのので、これを継続していただき、生徒たちに目的意識を持たせて頑張してほしい。
A	電気工事士に関する資格やものづくりコンテストなど今後も良い結果が出ることを期待している。
A	資格指導や進路指導がきちんとなされているため生徒たちも意欲を持ち前向きに取り組んでいる姿勢が見受けられる。更なる進路実現に向けた指導をお願いしたい。
評価項目以外のものに関する意見	
・文化祭・体育祭などの学校行事は素晴らしいものがあり、様々なものに感動させていただいた。 ・生徒さんたちが、楽しそうに通っている姿は微笑ましい。また、資格取得等で自信に満ち溢れた姿は素晴らしいものがある。 ・是非、いろんなことを中学生等にアピールしてほしい。	